

東山手地区の魅力を 発信します!



オランダ通りの方々でこの事業を立ち上げました

9月17日、「『オランダ通りで一日を』～長崎の歴史と人と店をつなぐ楽しみ方～」を、今年度第一号のまちぶらプロジェクト認定として認定式を実施。

この取り組みは、観光や店舗の案内を兼ねてオランダ通り周辺の地図の案内板を設置したり、日本語・英語のリーフレットの作成・配布を行ったりするものです。手書きの案内板はかわいい猫も描かれているため、撮影スポットとしても、最適。一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。

■問い合わせ まちなか事業推進室(☎829-1178)

住みよかプロジェクト 第1弾が発進



市営住宅の空き室の改修作業をする学生たち

「若者や子育て世帯が住みやすいまち」を目指した住みよかプロジェクトとして、長崎総合科学大学と市が連携して実施する「市営住宅の空き室活用実験プロジェクト」がスタート。この取り組みは市営住宅の空き室を学生が自ら改修し、実際に住むことで若い世代に望まれる住まいとは何かを、生活しながら検証します。

9月に改修作業を終え、10月から学生が実際に入居を始めています。今後、検証結果を基に、市営住宅改修や若い世代向けの住宅に生かしていく予定です。

■問い合わせ 住宅課(☎829-1185)

市の政策評価に関して ご意見をいただきました



審議会の西村会長から総評をいただきました

10月9日、市が行った施策評価に対し、各分野の専門家や市民など43人で構成する長崎市総合計画審議会から中立的・専門的視点で審議した報告書が市長に提出されました。

報告書では、コロナ禍の影響を踏まえ、現実に即した戦略を推進する必要や、市民等との連携した施策推進のため、市の取り組みなどを分かりやすく伝える必要があるとのご意見をいただきました。今後の取り組みや第五次総合計画の策定に生かしていきます。

■問い合わせ 都市経営室(☎829-1111)

新しい生活様式に 対応した授業のために



寄贈された988枚のマスクを有効活用していきます

9月15日、ライオンズクラブ国際協会長崎東クラブから、学校教職員用マスクを寄贈していただきました。このマスクは、透明のプラスチック製でできているため、授業などでも、教員の口の動きが分かります。現在、市内の小学校で使用されています。

また、他の団体などからも、マスクや消毒液等さまざまな支援をいただいております。学校現場での感染症予防や新しい生活様式に対応した取り組みに活用させていただきます。

■問い合わせ 教育委員会総務課(☎829-1191)